

イベント情報

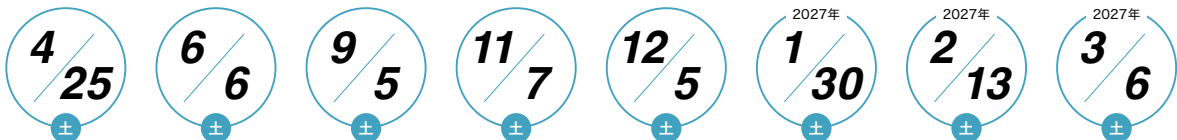
オープン キャンパス



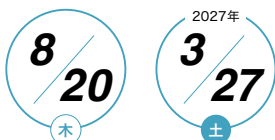
※イベントに関する詳しい情報は
ホームページをご覧ください。



キャンパス ツアー



夏休み・春休み 体験学習会



交通案内



松戸駅

JR常磐線快速・東京メトロ千代田線直通各駅停車・京成電鉄松戸線

▶ 西口 2番バス乗り場(京成バス千葉ウエスト)「日大歯科病院」行きバス 終点下車(バス 約15分)

南流山駅

JR武蔵野線・つくばエクスプレス

▶ 北口 バス乗り場(京成バス千葉ウエスト)「松戸駅」行きバス「日大歯科病院」下車(バス 約20分)

▶ 北口 バス乗り場(京成バス千葉ウエスト)「松戸駅」行きバス「日大病院入口」下車(バス 約15分、徒歩 約5分)

北松戸駅

JR常磐線各駅停車

▶ 徒歩 約20分

日本大学松戸歯学部

〒271-8587 千葉県松戸市栄町西2-870-1
TEL 047-368-6111(代表) FAX 047-364-6295

日本大学松戸歯学部
<https://www.mascot.nihon-u.ac.jp>



日本大学松戸歯学部

GUIDE BOOK 2027

ここからはじめる。
ここではない。



ここから 人の一生を支える 歯科医師として生きていく。

歯科医師になる。
これはゴールではありません。

「口腔の健康は全身の健康を支える」
これは、歯科医学を口腔科学として捉えた、
開設当初から貫く先駆的な考え方です。
つまり歯を診ることは、人を診ること。
噛む、話す、笑う。口が担う役割そのすべてが、
人の尊厳と生の豊かさにつながっています。

ここは、歯科医学の最前線。
国家資格取得を見据えた実践的な教育と、
臨床経験を通し、精緻な技術を磨く環境があります。
なにより、医療人として生涯の使命感を養い、
同じ志を持つ仲間と切磋琢磨できる場です。

口から人の一生を支えること。
この志には、覚悟がある。だからこそ、
「歯科医師になりたい」ではなく、
「歯科医師として生きていく」。
その決意に、全力で応えます。

教育ビジョン

Oral Science

歯科医師は虫歯を治療するだけでなく、
口腔の健康を通じて全身の健康を支えるために、
ますます重要となってきます。
松戸歯学部は歯科医学を
「オーラルサイエンス(口腔科学)」と捉え、
医学の一分科としての教育を行っています。

がん予防

唾液には発がん性を減少させる物質も含まれています。
清潔で健やかな口腔環境を保つことは、がんの予防にも
大切です。

脳の活性化

噛むことは脳の活動を活発にします。自分の歯で噛める
ことが認知症の予防にもつながります。

感染予防

口はからだの入口です。口腔の清潔が肺炎などの感染
予防にとっても役立ちます。

消化促進

よく噛んで食べると、食べ物と唾液がよく混ざり消化吸収
を助けます。そして、胃腸の負担も軽くします。

体力向上

しっかりと噛むことは歯やあごの発育だけでなく、丈夫
なからだづくりの基本です。

口臭予防

さわやかな息は、やさしいエチケット。歯周病や内臓疾患
などでは病的口臭が現れます。

豊かな表情

美しい歯は輝く笑顔の主役です。健康な口は豊かな表情
をつくります。

松戸歯学部の新たな50年への歩み

日本大学松戸歯学部学部長
日本大学教授(有病者歯科検査医学)
福本 雅彦
ふくもと まさひこ

松戸歯学部は1971年に開設し今年で創設56年目に入りました。創設50周年の記念事業として2022年春から始まった新校舎棟の建設が2025年12月に全面竣工を迎えました。名実ともに松戸歯学部は新たな50年の歴史を歩み始めました。新校舎に設置されたラーニング・コモンズや自習室等を学生の皆さんが積極的に活用されている様子を見ると、改めて松戸歯学部が新しい歴史を刻み始めたことを実感いたします。

一方、学び舎の変化だけでなく歯科医療を取り巻く状況も大きく変化しつつあります。マスコミ等で報道されていた歯科医師過剰という文言を最近あまり耳にしなくなったと感じませんか。実際、国の調査でも歯科医師の人数は令和4年調査で約2,000人の減少、更に喫緊の令和6年調査では更に1,600人の減少が報告されています。また無歯科医地区も増加に転じてきました。今後、我が国の歯科医療

を担う人材の確保は急務であることは疑う余地のない事実です。また、これからの歯科医師に求められる能力は従前とは変化してきています。ご承知のように我が国は超高齢社会を迎えています。高齢の方が歯科治療を受けたくても様々な事情で外来受診できないケースが今後、更に増加していくことは想像に難くありません。また、歯科のみではなく医科的な診療も居宅や施設等での受診の比率が高くなってくると予想されます。それゆえ、これからの歯科医師に求められる資質は多職種の方々と連携して医療を提供できること、在宅診療に習熟していることが必須となります。この社会状況に鑑み松戸歯学部ではこれまで主体であった病院における外来診療だけでなく、もう一本の大きな柱として訪問歯科診療の充実を図っています。その一環として2025年4月1日から「地域医療連携統括センター」を設置しました。訪問歯科診療を含めた地域医療連携は病院診療のみならず、学部教育の柱

としても育て上げる所存です。

松戸歯学部は、このような資質を持つ歯科医師の育成・輩出に努めますが、そのためには乗り越えなければならない関門はいくつもあります。その一つは歯科医師国家試験です。その関門突破のために松戸歯学部は様々な取り組みを実施しています。一丁目一番地の施策として国家試験合格率の向上を掲げ、そのためのシステム構築や教員の講義内容の変革を行ってきました。今後も引き続き同様の取り組みをしていきます。学生の皆さんが低学年から公的化された共用試験、殊にCBTや歯科医師国家試験の合格を意識するように、1～4年次の各講義の内容はもとより、様々な学習環境の整備に徹底的に対策を講じる所存です。最後になりますが、このような取り組みにより松戸歯学部で学ぶ学生の皆さんが「自ら学ぶ」「自ら考える」「自ら道をひらく」能力を身に付け、社会に貢献できる歯科医師になると確信しています。

沿革

1971	●日本大学総長 鈴木勝の構想により、日本大学松戸歯科大学開学 ●初代学長に鈴木勝就任 ●付属歯科病院開設
1973	●体育館竣工
1974	●附属歯科衛生専門学校開校 ●口腔科学研究所設置
1975	●学術雑誌「日大口腔科学」創刊
1976	●日本大学松戸歯学部と改称 ●動物実験研究センター・アイソトープ研究センター竣工
1977	●大学院松戸歯学研究科設置
1982	●組換えDNA実験施設設置(第4共同研究室内)

1989	●日本大学創立100周年記念 松戸歯学部国際シンポジウム開催
1991	●創設20周年記念式典・祝賀会
1995	●MASCAT(学内LAN)センター設置
1998	●マルチメディア歯科教育システム導入 ●松戸歯学部後援会発足
2001	●創設30周年記念式典・祝賀会
2006	●新病院棟竣工、日本大学松戸歯学部付属病院と改称
2011	●創設40周年記念式典・特別講演会
2021	●創設50周年
2024	●新校舎竣工 ●附属歯科衛生専門学校開校

松戸歯学部 3つの特長

第119回(2025年度)
歯科医師国家試験合格者数(総数) **57名**

1 附属病院と連携した 実践的な臨床実習

指導医、患者さん、医療スタッフと関わりながら診療に参加します。附属病院での実習を通じて、知識・技術だけでなく、柔軟なコミュニケーションスキルを身に付けることができます。実習の舞台となる附属病院は、歯科大学附属病院として電子カルテを国内初導入し、様々な最新検査機器を備え、複雑化・多様化する医療ニーズに対応したスキルを身に付け即戦力となる歯科医師を養成します。

全国でも来院患者数 トップクラスの附属病院

来院患者数、年間20万人以上、1日約720人、年間入院患者数延べ約2,800人。全国の歯学部附属病院でもトップクラスの来院患者数を有する附属病院では、患者さんのご協力により豊富な臨床経験を積むことができます。また当院は、国家試験合格後における臨床研修の実施機関として、約70人の研修歯科医の受け入れ体制を整えています。

患者さんを中心とした 機能的な医療環境

地上4階の附属病院棟には、歯科治療用ユニット183台、ベッド数31床を備えています。21診療科(歯科17科、医科4科)を機能的に配置し、患者さんを中心とした構造になっています。また、最新鋭のCT、MRI等を有するなど、充実した医療環境を整えています。

地域歯科医療の 中核を担う附属病院

附属病院は、口腔の健康は全身の健康を支える「オーラルサイエンス(口腔科学)」の理念のもと、新たな歯科医療の分野に挑戦を続けています。臨床実習の場であると同時に地域歯科医療の中核を担い、最新の設備で高度な医療を提供する一方、地域に根ざした取り組みを積極的に行っています。

2 「医療行動科学」で プロ意識を修得



カリキュラムポリシーにうたわれている「対人関係能力や医療人としての人格を備えた全人的な歯科医師を養成」の観点から、1～4年次にわたり「医療行動科学1～4」を設置しています。患者さんの声に耳を傾け、その思いをくみ取って適切な説明・治療ができるよう、講義や実習を通して患者心理の理解を深め、プロフェッショナリズムを修得します。

3 教職員が一丸となった きめ細やかな学修支援



1年次から4年次までに配置された学修サポート委員と学年担任が、学生や保証人との面談を定期的に行い、成績の状況に応じて学修方法や弱点補強のための工夫などのアドバイスを学生一人ひとりに行います。また5・6年次では、それぞれ10～12名程度の班に2～3名の教員を配置し、臨床実習へのアドバイスや歯科医師国家試験に向けての助言など、きめ細やかな学修支援を行います。

附属病院の診療科紹介



診療部門

【歯科】

放射線科/臨床検査科/病理診断科/
総合歯科診療科/歯科疾患管理科/
口腔機能維持管理科/健康増進歯科/
保存科/補綴科/歯周科/小児歯科/
矯正歯科/特殊歯科/口腔外科/
麻酔・全身管理科/口腔インプラント科/
顎関節・咬合科/地域医療連携統括センター

【医科】

内科/脳神経外科/
頭頸部外科・耳鼻咽喉科/
心臓血管外科

*詳細はこちらをご覧ください。



松戸歯学部 の 学び

日本大学教育憲章

日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。

日本大学の理念(目的及び使命)

日本大学は 日本精神にもとづき
道統をたつとび 憲章にしたがい
自主創造の気風をやしな
文化の進展をはかり
世界の平和と人類の福祉とに
寄与することを目的とする

日本大学は 広く知識を世界にもとめて
深遠な学術を研究し
心身ともに健全な文化人を
育成することを使命とする

日本大学マインド

日本の特質を理解し伝える力

多様な価値を受容し、自己の立場・役割を認識する力

社会に貢献する姿勢

「自主創造」の3つの構成要素及びその能力

自ら学ぶ ●豊かな知識・教養に基づく高い倫理観
●世界の現状を理解し、説明する力

自ら考える ●論理的・批判的思考力
●問題発見・解決力

自ら道をひらく ●挑戦力 ●コミュニケーション力
●リーダーシップ・協働力 ●省察力

松戸歯学部 の 教育研究上の目的

＊詳細はこちらをご覧ください。



理 念

口腔の健康は全身の健康を支えるという考えを基盤とし、それを具現化した「オーラルサイエンス(口腔科学)」の学びを礎に、自主創造の能力を養い、豊かな知識と教養に基づく高い倫理観を持ち、論理的かつ批判的思考を用いた問題解決力と省察力を有し、歯科医療と歯科保健を通して生涯にわたり社会に貢献できる人材を育成する。

目 標

口腔と全身の健康維持・増進に寄与するために、社会の多様なニーズに対応できる高い職業倫理を備え、あらゆる職種と協働し、地域医療と地域保健に貢献できる歯科医師を育成する。

研究指導の方針

教員の指導の下に、歯科医学の発展のために積極的に研究活動に参加し、その成果を国内外の学会へ公表することを通じて、研究力を高め、さらに国際人としてのグローバルセンスを養う。

松戸歯学部3つのポリシー

ディプロマ・ポリシー (学位授与の方針)

松戸歯学部は、日本大学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、松戸歯学部の教育理念に基づいた各分野の授業科目をすべて修得し、以下の到達目標に達した者に学士(歯学)の学位を授与する。

自ら学ぶ

DP1. 幅広い教養と豊かな人間性に基づく高い倫理観を持ち、医療の中での役割を認識して社会に貢献できる。
DP2. 国際社会における歯科医学や医療の現状を理解し、その多様性について説明できる。

自ら考える

DP3. 歯科医学の研鑽によって得られる情報を基に論理的な思考、批判的な思考をすることができる。
DP4. 自ら能動的に課題を発見し、歯科医学の知識に基づく問題解決ができる。

自ら道をひらく

DP5. 医療人として新しいことに挑戦し、自らの道を切りひらくことができる。
DP6. 歯科医療に必要なコミュニケーション力を有し、かつ実践できる。
DP7. 地域社会における保健、医療、福祉および介護などに貢献するために必要な多職種の医療・福祉従事者と連携、協働かつ支援することができる。
DP8. 生涯にわたり謙虚に自己を見つめ、自己分析の習慣を身に付け、医療人としての資質を高めることができる。

カリキュラム・ポリシー (教育課程編成・実施の方針)

松戸歯学部(学士(歯学))では、日本大学教育憲章(以下、「憲章」という)を基に、学位授与の方針に沿って、教育課程の編成を実施する。憲章に基づく学位授与の方針における8つの能力(コンピテンシー)を養成するための初年次教育、教養教育、専門教育等について、一般教養、医療行動科学、基礎歯科医学、社会歯科医学、臨床歯科医学、総合医学の各領域で構成される科目を横断的かつ体系的に位置付けて、総合歯科医学領域と臨床実習領域でそれらを統合する教育課程を編成する。また、講義、演習、実験、実習の授業形態を適切に組み合わせた科目を開設し実施する。学修成果の評価については、各授業科目の専門的な知識・技能及び態度の能力の修得を適切に評価する多元的な評価方法により各授業科目のシラバスに明示される学修到達目標の達成度について判定し、憲章に沿った能力の修得については、卒業の達成を測るための授業科目等により総合的に行う。

自ら学ぶ

CP1. 一般教養、全学共通初年次教育および医療行動科学による体験実習や参加型学修を通じて、自然科学、人文社会科学への深い理解と医療人としての基礎となるプロフェッショナリズムを育成し、5年次から付属病院において参加・実践型の臨床実習を行い高い倫理観を醸成する。知識に関する評価は筆記(論述・客観)試験・口頭試験、態度を加えた評価はポートフォリオ、レポート、ルーブリック等を用い、成長過程も合わせて評価する。
CP2. 外国語学科目や、海外研修や海外研究者との交流を通じて、国内外の歯科医療の現状を理解し、国際社会で活躍できる基本的能力を育成する。知識に関する評価は筆記(論述・客観)・口頭試験、態度を加えた評価はレポート等を用いて評価する。

自ら考える

CP3. 基礎歯科医学や社会系歯科医学を通じて論理的思考力を育み、自ら学ぶ学修態度によって臨床歯科医学に関する知識を修得する能力を育成する。5年次から付属病院で行う臨床実習で歯科医療に対する論理的・批判的思考力を養成する。知識に関する評価は筆記(論述・客観)試験・口頭試験、態度を加えた評価はポートフォリオ、レポート、ルーブリック等を用い、成長過程も合わせて評価する。
CP4. 基礎歯科医学と臨床歯科医学が連携する授業科目を配置し、歯科治療の実践力の向上に必要な探究心と問題解決能力を育成する。5年次からの臨床実習では主体的に実践する自己主導型学修をサポートし、適切なフィードバックによって継続的に問題解決する能力を養成する。知識に関する評価は筆記(論述・客観)試験・口頭試験、態度を加えた評価はポートフォリオ、レポート、ルーブリック等を用い、成長過程も合わせて評価する。

自ら道をひらく

CP5. 臨床歯科医学と隣接医学を通じて新しいことに挑戦する気持ちを育成する。さらに充実した診療参加型臨床実習を提供し、基本的な臨床技能を習得し、責任と役割を担い、新しいことに挑戦する能力を養成する。知識に関する評価は筆記(論述・客観)試験・口頭試験、態度を加えた評価はポートフォリオ、レポート、ルーブリック等を用い、成長過程も合わせて評価する。
CP6. 医療行動科学を通じて、初年次体験実習、参加型学修(模擬患者を対象としたロープレ実習を含む)を行い、さまざまな人々とのコミュニケーションを通じて相互に意思を伝達する能力を育成する。さらに5年次からは、付属病院や在宅で患者や多職種との連携を実践する多様な臨床実習を行うことで、対人関係能力や医療人としての人格を備えた全人的な歯科医師を養成する。これらの評価は、ポートフォリオ、ルーブリック等を用い、成長過程も合わせて評価する。
CP7. 社会歯科医学と地域医療に関連する学科目の講義、および地域医療実習等を通じて、多職種医療・福祉従事者と協働する必要性を自覚し、社会に貢献する能力を育成する。評価は、ポートフォリオ、ルーブリック等を用い、成長過程も合わせて評価する。
CP8. 初年次教育から臨床歯科医学および総合医学に至る学修を通じ、臨床実習を経て卒業に至るまで、常に振り返りを行いながら自己の向上を図る必要性を理解し、医療人として生涯にわたって学ぶ姿勢を育成する。評価は、ポートフォリオ、レポート、ルーブリック等を用い、成長の過程も合わせて評価する。

アドミッション・ポリシー (入学受入れの方針)

松戸歯学部の教育理念・目標に合致した人を選抜するために、基礎的学力、論理的思考力やコミュニケーション能力などに関する試験を実施し、医療人としての資質を総合的に評価し、以下の資質を持つ人を受け入れる。

AP1. 歯科医学を通じて社会に貢献する志を有する人。
AP2. 歯科医学を修得するための基礎的な学力とコミュニケーション能力を兼ね備えている人。
AP3. 自主的に学ぶ姿勢と創造性に富み、論理的で柔軟な思考力を有する人。
AP4. 他人に対する思いやりを持ち、社会的責任感が強く、多様な価値を受容する寛容性と奉仕の精神を備えている人。
AP5. 諦めない心で歯科医学を探究し、目標や意義を見出すために振り返りができる人。

松戸歯学部では「教育・学修総合センター」を設置し、学修を支援する教育システムを構築しています。収集した成績等のデータに基づいて作成した教材を学生に提供し、苦手分野の克服を目指しています。また、全ての試験成績に基づいて分析したデータを学生にフィードバックすることで、学びを確実に進めるためのサポートを行っています。



基礎的な歯科医学を総合的・複合的に学ぶ

幅広い教養の知識と



学生インタビュー

Student Interview

私は看護師として5年の臨床経験を経て、2年次編入で松戸歯学部に入學しました。これまで医療の現場に携わってきた経験から、歯科についてより専門的に学びたいと考え、本学部での学びを志しました。

編入当初は、学生生活に馴染めるかという不安もありましたが、クラスメートや面倒見の良い先生方の温かいご指導に支えられ、安心して学業に取り組むことができました。実習や日々の講義を通して、学びたい気持ちをしっかり支えてくれる環境だと感じます。

2年次では医学的基礎科目や解剖学、生理学など、歯科医療の土台となる知識を集中的に学びました。全身の仕組みを理解したうえで口腔を捉える視点が養われ、歯科医療が全身と深く関わっていることを実感

した一年となり、基礎を丁寧に積み重ねることの大切さを改めて感じる機会にもなりました。

3年次になると、歯科保存学や歯科補綴学などの専門科目が始まり、基礎で学んだ内容がどのように臨床へつながるのかを具体的に理解できるようになりました。知識が点から線へとつながっていく感覚は非常に興味深く、歯科への理解が深まっていくのを感じています。

社会経験を経て大学に入り直した私ですが、いつからでも学び直す環境を整えてくれている大学に感謝しています。

白瀬 実実さん(4年次生)

学びの特色

Featured Learning

歯科矯正学



講義と実習を行いながら学修を進めます。講義では、歯科矯正学の歴史と定義、正常咬合、不正咬合の原因および予防などを学びます。実習では、不正咬合の治療がどのような装置によって行われるか、また、歯がどのように動くのかについて、実際の矯正器具を使いながら理解を深めます。

高齢者歯科学



現代の超高齢社会において、高齢者に関する歯科医学、歯科医療の知識は非常に重要なものとなっています。高齢者歯科学では、加齢による口腔内の変化をはじめ、高齢者をとりまく社会経済的環境、保健福祉制度をはじめとした、超高齢社会における歯科医師に必要な知識、技能を学修します。

4年次前学期の時間割 (令和8年度 参考)

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
1	障害者歯科学	高齢者歯科学	口腔顎顔面外科学	総合医学	小児歯科学
2	歯科矯正学	歯科保存学2			歯科補綴学2
3		社会歯科学	歯科保存学2	歯科医学総合講義4	
4		歯科補綴学2		医療行動科学4	

教員からのメッセージ

Message from the teacher

1～4年次は、歯科医師としての確かな基盤を築くための極めて重要な期間です。松戸歯学部では、歯科医師に求められる知識・技能・態度を、段階的かつ体系的に修得できます。

1年次には、教養系科目を中心に学び、物事を多角的に考える力や豊かな人間性を育成します。あわせて、歯科医学と社会との関わりを理解することで、学修に対する主体性と明確な目的意識を養います。

2年次では、人体の構造や機能、疾病

の成り立ち、薬物の作用など、臨床の基礎となる医学的知識を修得します。さらに、歯科材料に関する理解を深めることで、歯科医師としての基礎力を確かなものにします。また、歯科医療が社会に果たす役割を学び、地域や社会の健康を支える使命感を育みます。

3～4年次には、歯・歯肉・顎顔面領域の疾患や障害など、より臨床に即した内容を学びます。加えて、ライフステージごとの特徴的な疾患や治療法を学ぶことが出来ます。また、内科学や外科学など

を学ぶことで、口腔と全身の密接な関係を理解できます。

この4年間の学びの積み重ねは、共用試験および国家試験の合格に繋がるだけでなく、人々の健康と人生を支える歯科医師としての揺るぎない力となります。皆さんと共に学べることを楽しみにしています。

鈴木 到 専任講師



付属病院での臨床実習

全国トップクラスの来院患者数を誇る



学生インタビュー

Student Interview

5年次からは、付属病院での実践的な授業である臨床実習が本格的に始まります。

臨床実習は各診療科を一定期間ずつ経験するローテーション形式で行われるため、むし歯治療や歯周病治療のほか、顎や顔面などに現れる疾患の治療など、歯科医療の幅広い分野を体系的に学ぶことが可能です。

さらに臨床実習では、これまで身につけてきた知識をもとに実際に患者さんと接し、診療の流れやコミュニケーションのとり方を学びます。4年次までは座学が中心でしたが、5年次以降は知識を「使う」ことが求め

られ、歯科医師として必要な考え方や判断力を身につけていきます。

また、5年次では、定期試験や国家試験の対策として、臨床実習の空き時間に自習室や図書館での自主学習に取り組みます。松戸歯学部は、教員と学生の距離が近く、分からないことがあればすぐに相談できる環境が整っているため、国家試験に向けて着実に成長することができます。

山本 大夏さん(6年次生)

学びの特色

Featured Learning

診療参加型臨床実習(SD診療)

付属病院を受診する患者さんの診療に参加し、歯科医療の実践力を培います。指導医のもとで、初診時医療面接と応急処置、診察・情報収集と分析、総合的治療計画の立案、患者さんへの説明まで学生が行います。さらに、指導医の指示を仰ぎながら実際に患者さんの治療を担当し、患者さんとの良好な関係構築のためのコミュニケーション能力と診察技能を高めます。



課題別臨床実習



6年次に実施され、各診療科で参加型臨床実習を行いながら、新5年次生に基本的臨床能力を指導することで自身の知識・技能・態度を見直し、より専門的な知識・技能・態度を統合的に修得します。

歯科医学総合講義6



診断・治療・予防までの一貫した診療を実践できる歯科医師を目指して講義を行い、歯科医師国家試験の合格に向けて6年次までに履修した知識・技術を集約します。

教員からのメッセージ

Message from the teacher

5年次になると付属病院での臨床実習がスタートします。様々な診療科があり、配属として全ての科の診療に参加することができます。4年次までの知識がここで実際の歯科治療と結びついていきます。

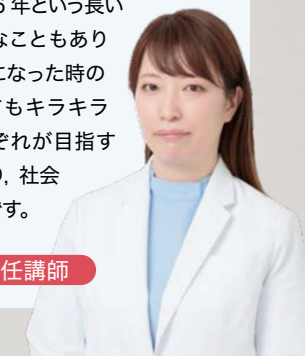
また、患者さんを担当し、診査・診断・治療計画立案を自ら行い、治療を行っていきます。最初は緊張や戸惑いが伝わってきますが、1年を通しての知識と技術の向上には目を見張るものがあります。それ以上に感じるのは患者さんに対する姿勢の変化です。

歯科医師とは痛みや苦しみ、悩みを抱えている方と対峙する職業です。我々が求められるのは知識や技術だけではなく、相手に寄り添い、真摯に向き合い、根気強く改善に導く精神力です。臨床実習では、歯科医師が持つべき思いやりや誠実さ、忍耐力そして患者さんや仲間への感謝の気持ちを育ててほしいと思っています。

6年次になると、担当患者さんに「ありがとう、歯科医師になれるよう頑張ってる」と、感謝と激励を受けて臨床実習も

終わります。その後、いよいよ国家試験に向けての大詰め勉強が始まり、多くの試験をこなします。十数人の班ごとに国家試験対策の教員が学習や生活のサポートをします。6年という長い学生生活で困難なこともありますが、歯科医師になった時の皆さんの顔はとてもキラキラしています。それぞれが目指す歯科医師の姿となり、社会に貢献して欲しいです。

鈴木亜沙子 専任講師



大学院 松戸歯学研究科

最先端の機器が充実した環境で
追究したい専門領域を深く掘り下げる

日本大学大学院松戸歯学研究科は昭和52年に設置されました。現在、発育発達全身疾患学系、口腔病態制御学系、組織細胞再生学系、先端材料修復学系、口腔顎脳再建学系、病態診断検査学系の6つの学系のもとに23の専攻学科目があります。大学院には科学する能力をもった臨床医を育てることと、未来の歯科医学を担う教育・研究指導者を育てる目的があり、様々な最先端の機器が充実した研究に最適な環境で、追究したい専門領域を深く掘り下げ、さらに専門性を高めることができます。



＊詳細はこちらをご覧ください。



＊詳細はこちらをご覧ください。

松戸歯学研究科の教育研究上の目的

理 念	自主創造の能力を養い、高い倫理観と省察力を有し、豊かな専門知識と問題解決能力に基づく研究、教育、臨床を通して、生涯に渡り人類の福祉と健康に貢献する人材を育成する。
目 標	人類の福祉と健康から社会へ貢献し続けるために歯科医学の専門知識を身につけ、多様な価値、自己の立場・役割、日本の文化を理解し、高い職業倫理と世界への発信力を備えた研究・教育者、科学する力を持った臨床家を育成する。

松戸歯学研究科3つのポリシー

ディプロマ・ポリシー (学位授与の方針)	松戸歯学研究科は、日本大学教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を遺憾なく発揮し、松戸歯学研究科の教育研究理念に基づいた履修区分にある授業科目をすべて修得して博士論文の審査および最終試験に合格し、以下の到達目標に達した者に博士(歯学)の学位を授与する。 自ら学ぶ DP1. 研究に携わる者としての倫理に基づき、歯科医学を含む自然科学に関する諸課題の解決を通じて社会に貢献できる。 DP2. 国際社会における歯科医学を含む自然科学の現状と課題を理解し、最先端の課題に取り組むことができる。 自ら考える DP3. 歯科医学を含む自然科学の諸課題の探求と解決に論理的かつ批判的な思考を以て取り組み、独創的な研究を行うことができる。 DP4. 自ら発見した課題に対して、歯科医学を含む自然科学の知識・技術を応用し、実験・調査に基づく解決に自立して取り組むことができる。 自ら道をひらく DP5. 歯科医学の研究者、教育者、臨床家として進んで新しいことに挑戦し、自らの道を切り拓くことができる。 DP6. 歯科医学を含む自然科学の課題の探求と、解決・発信に必要なコミュニケーション力があり、かつ有効に運用できる。 DP7. 歯科医学を含む自然科学の課題の探求と解決に貢献するために他分野の研究者や他職種従事者と連携、協働かつ支援することができる。 DP8. 生涯にわたり謙虚に自己を見つめるとともに自己分析を欠かさず、歯科医学の研究者、教育者、臨床家として社会に貢献できるよう資質の向上に常に努めることができる。
カリキュラム・ポリシー (教育課程編成・実施の方針)	松戸歯学研究科のディプロマ・ポリシーに示す能力を所定の年限で修得するために必要な学修領域として、専攻学科目、共通科目、歯学特別演習の各履修区分で構成される体系的なカリキュラムを配置し、以下の方針に基づいた教育プログラムを実践する。また、各履修区分の学修方法、学修過程、学修成果の評価の方法、評価基準をシラバスに明示し、学生に周知する。学修成果の評価に関しては、授業形態に即し、適正かつ厳格に実施する。 自ら学ぶ CP1. 専攻学科目、共通科目、歯学特別演習の学修を通じて、歯科医学を含む自然科学に関する理解を深め、歯科医学の研究者、教育者、臨床家としての基礎となるプロフェッショナリズムを身につける。 CP2. 専攻学科目、共通科目、歯学特別演習の学修における国内外の研究者、教育者、臨床家との交流・協働を通じて歯科医学を含む自然科学の課題を深く理解し、国際社会で活躍できる実践的な能力を養う。 自ら考える CP3. 専攻学科目、共通科目、歯学特別演習の学修を通じて、論理的思考力を養い、自ら学ぶ学修態度によって専門的な知識を修得する能力を向上させる。 CP4. 専攻学科目、共通科目、歯学特別演習の学修を通じて、研究マインドに必要な探究心と問題解決能力を身につける。 自ら道をひらく CP5. 専攻学科目、歯学特別演習の学修を通じて、歯科医学の研究者、教育者、臨床家として進んで新しいことに挑戦し、自らの道を切り拓くために必要な実験・調査の技術とコミュニケーション能力を養う。 CP6. 専攻学科目、共通科目、歯学特別演習の学修を通じて、円満で建設的な対人関係を構築できる優れた人格を備え、自らの意見や成果を社会に発信する力を持った歯科医学の研究者、教育者、臨床家を育成する。 CP7. 専攻学科目、共通科目、歯学特別演習の学修を通じて、他分野の研究者や他職種従事者との連携・協働により視野を広げ、社会に貢献する能力を養う。 CP8. 専攻学科目、共通科目、歯学特別演習の学修を通じて、常に振り返りを行いながら自己の向上を図る必要性を理解し、歯科医学の研究者、教育者、臨床家として生涯にわたり資質の向上に常に努める姿勢を身につける。
アドミッション・ポリシー (入学者受入れの方針)	松戸歯学研究科の教育研究理念・目標に合致した人を選抜するために、専攻学科目に関する基礎的学力と論理的思考力、コミュニケーション能力に関する試験を実施する。歯科医学を含む自然科学の様々な問題に対する科学的アプローチによる解決能力を持ち、最先端の研究成果からの情報を歯科医療現場にフィードバックし、口腔疾患の診断、治療、予防に役立てることができる臨床家、未来の歯科医学教育を担う教育者および世界をリードする研究者としての素質を総合的に評価し、以下の資質を持つ人を受け入れる。 AP1. 臨床家として歯科医学現場をリードし、社会に貢献したいという目的意識を有している人。 AP2. 歯科医学分野の教育者、研究者として社会に貢献したいという目的意識を有している人。 AP3. 歯科医学および生命科学に関する高度な知識と実行力を持ち、真理への探究心を有している人。 AP4. 国際的な視野を持ち、世界的に活躍したい意欲を有している人。

歯科医師人生におけるスタートライン

磯貝 奈々さん
nana矯正歯科clinic 院長

2023年3月、浅草に矯正専門のクリニックを開業しました。私は昔から将来の計画を立てることが得意ではなく、あまり先のことを考えずに過ごしてきました。大学時代を振り返ると、高校時代から続けていた硬式テニスの思い出ばかりで、まさにテニス中心の学生生活だったと思います。国家試験に合格し、研修医を終える頃になって初めて、「これからどんな歯科医師になりたいのか」を真剣に考え始めました。同級生の中には学生の頃から明確な志を持つ人も多くいましたが、私は研修中の経験や、将来的に女性歯科医師として働きやすい環境を考え、矯正科へ進む道を選びました。5年間の在籍を経て認定医の資格を取得しましたが、思い返せばそこが私にとっての第一のスタート

ラインだったと思います。その後、矯正フリーランスドクターとして複数のクリニックに勤務し、多くの学びを得ました。その中には、矯正専門クリニックで、経験豊富な指導医のもと研鑽を積んだ期間もあり、日々の診療を通して、技術だけでなく「歯科医師としての強い信念を持ち、患者様に誠実に向き合う姿勢」の重要性を教わりました。また、多様なスタッフの皆さんと働く中で、多くの考え方や価値観に触れ、将来自分が院長になるなら“スタッフの気持ちに寄り添える存在でありたい”という思いが芽生えました。さらに、数多くの治療経験の中で困難に直面し落ち込むこともありましたが、そんな時に支えてくれた同期や先輩・後輩の存在の大きさも実感しました。これまでの経験を振り返ったとき、学んだ

全てを活かすには「自分のクリニックをつくること」だと考えるようになり、紆余曲折を経て40歳を目前に開業という目標を実現しました。自由に挑戦させてくれた家族、恵まれた環境、支えてくれた多くの人のおかげで、今また新たな第二のスタートラインに立っていることに心から感謝しています。



世界を舞台に、自分を信じる

関 成弘さん
テキサス大学ヒューストン校歯学部歯周病学講座、臨床准教授

私が米国歯周病専門医を目指すようになった原点は、学生時代に当時の歯周病学講座・小方教授から勧めていただいた一冊の教科書にあります。欧米の著名な歯周病専門医が執筆し、欧米の歯科大学で使用されているその教科書に強い衝撃を受け、興味深く英語版を購入し、蛍光ペンで線を引きながら必死に読み込んでいたことを今でも鮮明に覚えています。卒業後、大学院在学中にヨーロッパインプラント学会にて研究発表の機会を得ました。その会場で、欧米の歯周病専門医たちが科学的データをもとに、5,000人もの聴衆の前で激しく議論を交わす姿に深く感銘を受けました。帰りの飛行機の中では、「自分も世界を代表する歯周病専門医になりたい」という強い想いで頭がいっぱいだったことを今でも覚えています。当時は現在のようにインターネットで容易に情報を得られる時代ではなく、米国の大学へ直接問い合わせを行い、後ろ盾のない状態から米国専門医への道に挑戦しまし

た。決して平坦な道のりではありませんでしたが、挑戦をやり遂げることができ、苦しい時期を共に支えてくれた妻と喜びを分かち合えたことは、今でも大切な思い出です。南カリフォルニア大学で歯周病専門医資格を取得後、テキサス大学にて教鞭をとりながら、臨床・研究・教育に携わっております。米国で「世界の頂点」を目指すという志を胸に、常に高い目標を掲げ、日々努力を積み重ねてきて15年が経ちました。歯周病学という学問の発展に少しでも貢献できるよう、常に最善を尽くしてきた結果、歯周病学・インプラント学分野において世界を牽引する先生方と共に、講演、臨床研究、論文執筆、さらには教科書の執筆に携わる機会にも恵まれました。世界の最前線で歯周病学をリードする先生方から学び、技術を磨き、切磋琢磨できる環境に身を置けていることは、異国の地で歯周病専門医になるという決意、そして厳しい現実の中でも決して諦めず努力し続けた日々の積み重ねの賜物だと感じて

います。今後も新たな挑戦が数多く待ち受けていますが、しっかりと準備を重ね、結果を出し続けられるよう、これからも真摯に歩み続けていきたいと思っています。海外には、文化・歴史・言語といった多様な価値観が存在し、日本にいたるだけでは決して触れることのできない世界が無数に広がっています。だからこそ、現役の学生諸君には、ぜひ殻を破り、常に世界に目を向けてほしい。自分の可能性を信じ、恐れずに行動すれば、世界は必ず応えてくれます。日本という枠にとどまらず、世界を舞台に大きく羽ばたいていくことを、心から期待しています。



Culture

松戸歯学部 of 学生生活



広大なキャンパスでの
活発なクラブ活動

学生自ら企画し、
実施する学校行事



新校舎(50周年記念棟)
竣工による
充実した学修環境

Campus Calendar 年間行事

本学部の学事日程には学修の場としての様々な行事に加え、学部祭(松戸祭)や全日本歯科学学生総合体育大会への参加など、学生生活をより充実させるイベントも行われています。ともに学ぶ仲間とふれあい、先輩や先生方など多くの人との関わりを持つことで、「コミュニケーション力」、「リーダーシップ・協働力」を備えた歯科医師の養成を目指しています。

春

- 日本大学入学式／開講式
- 登院式・戴衣式(5年次)
- ガイダンス
- 新入生オリエンテーション
- 定期健康診断
- 後援会総会
- 松戸歯学部創設記念日(5/20)
- 実験動物慰霊祭
- 学外研修(5年次)
- 消防・防災訓練
- リーダースキャン

》開講式



》登院式・戴衣式



登院が認められた者へ白衣及びSD(Student Dentist)証が授与され、5年次生から附属病院での臨床実習が始まります。

》新入生オリエンテーション



3日間の新入生オリエンテーションを通じて、歯科医師を目指す心構えを身につけるとともに、6年間共に過ごす友人やクラス担任との交流を深めます。

》学外研修



5年次の学外研修では、モリタ東京製作所にお邪魔し、歯科診療用チェアーユニットを製作しているところの見学等を行います。

秋

- 日本大学口腔科学会学術大会・総会
- 後学期授業開始
- 日本大学創立記念日(10/4)
- 学部祭(松戸祭)
- 市民大学講座
- 進学相談会
- 解剖体追悼法要
- 消防・防災訓練

》学部祭(松戸祭)



一人ひとりが主役になれる!キャンパスが一番アツくなるイベント「松戸祭」毎年秋に開催される松戸祭は、学生が一丸となってつくりあげるビッグイベント。賑やかな出し物、本学部ならではの企画など、多彩な魅力で多くの来場者の方々との交流を広げます

夏

- 特待生・各種奨学生 証書等授与式
- 進学相談会・体験学習会
- 夏季休業
- 全日本歯科学学生総合体育大会(歯学部:夏期部門)

》進学相談会



》体験学習会



冬

- 全日本歯科学学生総合体育大会(歯学部:冬期部門)
- 歯科医師国家試験
- 共用試験CBT, OSCE(4年次)
- 診療参加型臨床実習後客観的臨床能力試験(5年次)
- 日本大学卒業式／学位記伝達式
- 歯科医師国家試験合格発表

》学位記伝達式



※各種行事は、変更・中止となる場合があります。

Clubs クラブ活動

私たちラグビーフットボール部は学業と競技の両立を大切にしながら日々活動しています。

限られた時間の中で効率的に練習を行い、互いに助け合いながらチーム力を高めてきました。その成果として2025年度、歯学生のスポーツの祭典である全日本歯科学生総合体育大会(オールデンタル)において全勝優勝をし、2024年度に続き二連覇を達成することが出来ました。2025年度は特に主管校として松戸歯学部グラウンドで大会が行われ、たくさんの学生に見てもらった中の優勝となりました。

ラグビーを通して培われるのは体力や技術だけではなく。仲間を信頼し、仲間からの期待に応えるために困難な状況でも最後までやり抜く精神力は、将来歯科医師になる私たちに求められる責任感や協調性にも直結します。また学年を超えたつながりも強く、学業のサポートをしたりプライベートで旅行に行ったり先輩後輩の距離が近いことも本クラブの魅力です。

歯学部での生活をより充実したものになりたい人にとって、本クラブはもちろん本校でクラブ活動に参加することはかけがえのない成長の場になると思いますので、是非様々な選択肢を検討してみてください。

ラグビーフットボール部 豊田隆一郎さん(6年次生)

仲間と支え合う日々が培う
責任感と協調性

【ラグビーフットボール部 2025年度実績】
第58回全日本歯科学生体育大会ラグビー部門 全勝優勝
関東医歯薬リーグ2部残留

本学部のモットーは文武両道。国家試験合格を目指すかわら、多くの学生が同じ趣味や目的を持つ仲間と、クラブ活動にも精力的に汗を流しています。本学部には夜間照明付きグラウンド、体育館、テニスコート等が完備されており、サポート体制は万全です。このクラブ活動で得た学年を超えた「仲間」との絆は、在学中はもちろんのこと、卒業してからも生涯の友として貴重な財産となります。

国際交流が導いた
歯科への新たな視座

国際保健部 主将 高森麗加さん(5年次生)

国際保健部は、学会での発表、APDSA(アジア太平洋歯科学生会議)への参加、海外ボランティア活動など、人との交流が中心の部活動です。

私が国際保健部に入学した理由は、学生のうちから大学の枠を超えて歯科に関する視野を広げ、将来に繋がる活動に取り組みたかったからです。そして、その道を一人で歩むのではなく、同じ志を持つ仲間と共に成長したいと考えていました。

コロナ禍で活動が一時停止していたものの、2024年度から再スタートし、今は様々な活動をしています。その過程で、どのような活動を何のためにしたいかを部員同士で話し合い、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力、問題解決能力、多面的な視点、考える力が養われました。

一見堅苦しい部活に見えますが、全くそんなことはありません。活動は不定期で参加は自由です。私自身、大学の勉強はもちろん、運動系の部活と2つのバイトを掛け持ちしています。無理なく、しかし有意義に活動するというのが当部活のコンセプトです。

部活動への関わり方には幅があり、自分のペースで国際的・歯科的な視野を広げられる点が、国際保健部ならではの魅力だと感じています。

体育クラブ

- 合気道部
- アメリカンフットボール部
- 空手道部
- 弓道部
- 剣道部
- 硬式野球部
- 硬式庭球部
- ゴルフ部
- サーフィン部

- サッカー部
- 山岳部
- 少林寺拳法部
- 準硬式野球部
- 柔道部
- スキー部
- 水泳部
- ソフトテニス部
- 日本拳法部

- バドミントン部
- バレーボール部
- バスケットボール部
- フットサル部
- ボクシング部
- 洋弓部
- ヨット部
- ラグビーフットボール部
- 陸上競技部

文化クラブ

- 国際保健部
- 軽音楽部
- 写真部
- ユースホステルクラブ
- アナログレコード研究部
- ダンス部
- モーターサイクル部
- 天文部

同好会

- MDEC同好会
- 社会交流同好会
- 釣り同好会
- 戦史研究会
- 卓球同好会
- ダーツ同好会

Campus 施設・設備

2024年4月、新校舎「50周年記念棟」の運用を開始し、教育・研究・管理の場としての中核を担う機能を集約しました。

キャンパス中央に配置された新校舎には50周年記念講堂をはじめ、実習室、大教室など、主要な施設が機能的に配置されています。中でもラーニング・commonsは、図書館機能を含む学修環境の中心としての利用が期待されています。また、学生食堂や体育館、グラウンドなども備え、のびのびと学修に打ち込める環境が整っています。



》50周年記念講堂



合計300名を収容できる大講堂です。開講式などの式典のほか、学会の開催等を想定し多目的に使用できます。

》第1～4実習室



教養・基礎歯科医学・専門歯科医学分野の授業を幅広く安全に学べるよう、それぞれの実習室に特化したさまざまな設備を完備。例えば、タブレット端末などの情報機器を活用した授業にも対応しています。

》臨床実習室



計18台の歯科ユニットが設置され、臨床を想定した実習ができる教室となっています。なるべく歯科医療の現場に近い環境を学生に提供することで、即戦力となる歯科医師を養成します。

》大教室



各学年ごとに専用の教室が整備されており、学年全員で受講する必修授業はこれらの教室を使用しています。

》ラーニング・commons



図書館に隣接する自習スペースであり、個人の自習に使用することはもちろん、グループでの学修をすることも可能です。仲間同士で知識を共有するような、相互に学び合う環境を提供しています。

》図書館



所蔵資料は、歯学関係書籍を中心に約3万5千冊で、医学・薬学を含む隣接領域の専門書も幅広くカバーしています。開館時間は、9:00～21:00(平日)で、利用者が資料を直接手に取れる開架システムを採用しています。

》学生自習室



タブレット端末などの情報機器を使用する学修に対応したコンセント付きの机を151台設置した自習スペースです。利用可能時間は7:00～22:00で、毎日、多くの学生が利用しています。

》学生食堂



学生や教職員、研修医など学内関係者が自由に利用でき、クラブのミーティングや学修する場としても利用されています。

》体育館



バスケットボールコート2面を確保でき、冷暖房設備があります。その他に各種道場、トレーニングルーム及びシャワー室を備えています。



松戸歯学部の入試について

Information

学生インタビュー

Student Interview

進路の再選択

社会での経験が導いた



私は2年次・第2期の編入学試験で入学しました。他大学の経済学部を卒業後、「好きなことを仕事にしたい」という軸で就職し、地元石川県のテレビ局で約3年間勤務。配属先でプロバスケットボールの試合配信を担当したことをきっかけにスポーツ観戦の魅力に引き込まれ、次第にスポーツを「支える側」の仕事にやりがいを感じるようになりました。撮影現場では、選手が口元を痛める場面を目にしたことで、歯科医療、特にマウスガードの重要性を実感。さらに、能登半島地震の経験を機に将来を見つめ直す中で「好きなことに関わりながら人を直接支える仕事がしたい」という思いが強まり、スポーツ歯科

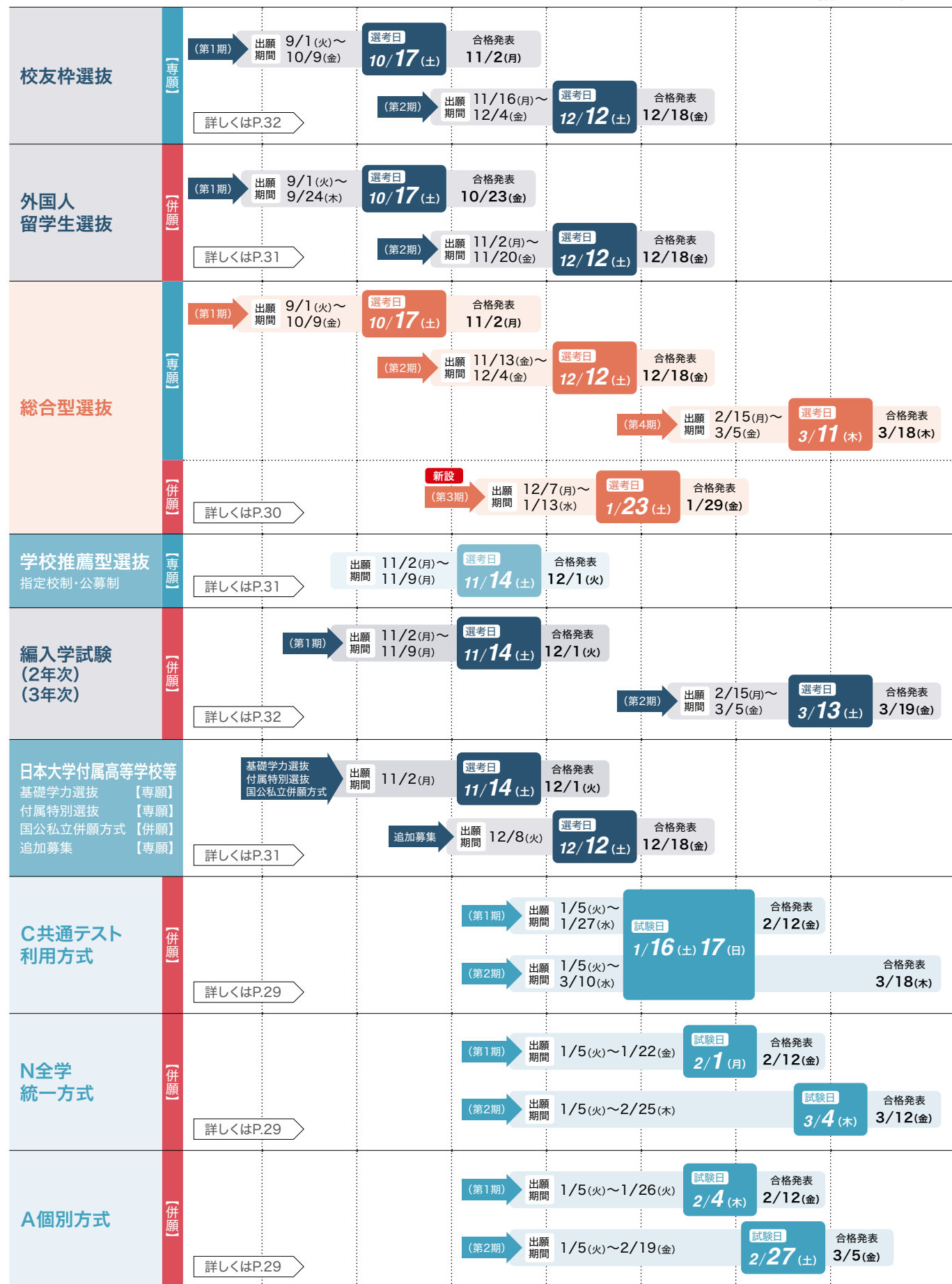
に強く惹かれました。松戸歯学部は教員と学生の距離が近く、加えてスポーツ歯科に力を入れている点に魅力を感じています。文系出身者が編入できる歯学部は限られていますが、社会人経験を生かせる試験内容も挑戦への後押しとなりました。入学当初は学習面で不安もありましたが、親身に対応してくださる先生方や支え合える仲間のおかげで安心して学習に取り組めています。

打田 莉織香さん(3年次生)

入試スケジュール



*詳細はこちらをご覧ください。



*1. 各選抜の出願資格若しくは出願要件を必ずご確認ください。

一般選抜の学力検査の試験教科

入試方式		学力検査			
		外国語	国語	数学	理科
N全学統一方式	第1期	○ *2	-	△	
	第2期	○ *2	△		
A個別方式	第1期, 第2期	○ *2	-	△	
C共通テスト 利用方式	第1期	○	-	○	○
	第2期	○	△		

*2. 外部の英語資格・検定試験のスコアの利用可。 ○: 必須 △: 1科目選択

総合型選抜のポイント

ポイント1 学力検査がない選抜

「理解力の確認」、「小論文」、「面接」、「書類審査」により選考します。学力検査の代わりに「理解力の確認」が選考方法に含まれます。

理解力の確認とは？

基本的な歯科医学に関する約30分の模擬講義(動画)を受講後、授業内容に関する設問に解答(約20分)解答はマークシート方式

「理解力の確認」の紹介動画・模擬設問はコチラ



ポイント2 総合型選抜【第3期】は併願が可能 新規導入！

原則として選考日が異なれば、他大学・他学部を併願することができます。

ポイント3 選択肢が広がる選抜日程

総合型選抜【第1期】【第2期】は年内に合格が決まり、一般選抜よりも入試時期が早い選抜となっています。また、総合型選抜【第3期】は1月下旬に、総合型選抜【第4期】は3月中旬に選考日を設定しているため、他の選抜と組み合わせながら受験計画を立てることができます。

令和9年度入学者選抜情報

◆本誌に掲載されている内容は予定であり、変更になる可能性があります。必ず募集要項でご確認ください。



*詳細はこちらをご覧ください。

一般選抜 N全学統一方式【併願】(日本大学全体で実施する一般選抜)

	【第1期】	【第2期】													
募集人員	10名(【第1期】【第2期】合計)														
出願期間	令和9年1月5日(火)～1月22日(金)	令和9年1月5日(火)～2月25日(木)													
試験日	令和9年2月1日(月)	令和9年3月4日(木)													
合格発表日 *1	令和9年2月12日(金)	令和9年3月12日(金)													
出願資格	次の①から③のいずれかに該当する者 ①高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和9年3月卒業見込みの者 ②通常の課程による12年の学校教育を修了した者(高等専門学校第3年次修了者等)及び令和9年3月修了見込みの者 ③高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和9年3月31日までにこれに該当する見込みの者														
選考方法	●学力検査(2教科2科目):マークシート方式 <table><tr><th>教科</th><th>【第1期】</th><th>【第2期】</th></tr><tr><td>外国語</td><td colspan="2">必須(60分/100点満点)</td></tr><tr><td>数学①</td><td rowspan="2">2教科4科目から1科目選択 (60分/100点満点)</td><td rowspan="2">3教科5科目から1科目選択 (60分/100点満点)</td></tr><tr><td>理 科</td></tr><tr><td>国 語</td><td colspan="2">—</td></tr></table> ●書類審査 (学力検査の総合得点が同点の場合、書類審査の評価が高い者を優先とします。) ※選択科目を指定科目数以上受験した場合は、高得点の科目を合否判定に使用します。ただし、医学部を併願していて、「理科」を合否判定に使用する場合は、第1解答科目のみを合否判定に使用します。 ※上記の結果を基に総合的に選考します。 〈外国語〉「英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ」 ◆外国語は、外部の英語資格・検定試験のスコアの利用可(詳細はP.30) 〈数学①〉「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A(図形の性質、場合の数と確率)、数学B(数列)、数学C(ベクトル)」 〈理 科〉「物理基礎、物理」、「化学基礎、化学」、「生物基礎、生物」 〈国 語〉「現代の国語、言語文化(漢文を除く)」		教科	【第1期】	【第2期】	外国語	必須(60分/100点満点)		数学①	2教科4科目から1科目選択 (60分/100点満点)	3教科5科目から1科目選択 (60分/100点満点)	理 科	国 語	—	
教科	【第1期】	【第2期】													
外国語	必須(60分/100点満点)														
数学①	2教科4科目から1科目選択 (60分/100点満点)	3教科5科目から1科目選択 (60分/100点満点)													
理 科															
国 語	—														

*1.午後1時にインターネットによる合否案内。

一般選抜 A個別方式【併願】(松戸歯学部が個別で実施する一般選抜)

	【第1期】	【第2期】								
募集人員	42名(【第1期】【第2期】合計)									
出願期間	令和9年1月5日(火)～1月26日(火)	令和9年1月5日(火)～2月19日(金)								
試験日	令和9年2月4日(木)	令和9年2月27日(土)								
合格発表日 *1	令和9年2月12日(金)	令和9年3月5日(金)								
出願資格	次の①から③のいずれかに該当する者 ①高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和9年3月卒業見込みの者 ②通常の課程による12年の学校教育を修了した者(高等専門学校第3年次修了者等)及び令和9年3月修了見込みの者 ③高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和9年3月31日までにこれに該当する見込みの者									
選考方法	●学力検査(2教科2科目):選択式・記述式									
	<table><tr><td>教科</td><td>【第1期】【第2期】</td></tr><tr><td>外国語</td><td>必須(60分/100点満点)</td></tr><tr><td>数 学</td><td>2教科4科目から1科目選択</td></tr><tr><td>理 科</td><td>(60分/100点満点)</td></tr></table>	教科	【第1期】【第2期】	外国語	必須(60分/100点満点)	数 学	2教科4科目から1科目選択	理 科	(60分/100点満点)	〈外国語〉「英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ」 ◆外国語は、外部の英語資格・検定試験のスコアの利用可(詳細はP.30)
	教科	【第1期】【第2期】								
	外国語	必須(60分/100点満点)								
	数 学	2教科4科目から1科目選択								
理 科	(60分/100点満点)									
		〈数 学〉「数学Ⅰ、数学Ⅱ」								
		〈理 科〉「物理基礎、物理」、「化学基礎、化学」、「生物基礎、生物」								
	●面接[個人面接](10分程度/50点満点) ◆「小論文」は廃止 ●書類審査(学力検査、面接の総合得点が同点の場合、学力検査の点数が高い者を優先とし、さらに同点であった場合は書類審査の評価が高い者を優先とします。) ※上記の結果を基に総合的に選考します。ただし、面接には最低基準点を設け、基準に達しない場合は総合得点が合格基準点を超過していても不合格とします。									

*1.午後1時にインターネットによる合否案内。

一般選抜 C共通テスト利用方式【併願】(大学入学共通テストを利用した一般選抜)

	【第1期】	【第2期】													
募集人員	5名(【第1期】【第2期】合計)														
出願期間	令和9年1月5日(火)～1月27日(水)	令和9年1月5日(火)～3月10日(水)													
試験日	大学入学共通テスト 令和9年1月16日(土)・17日(日)														
合格発表日 *1	令和9年2月12日(金)	令和9年3月18日(木)													
出願資格	次の①から③のいずれかに該当する者 ①高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和9年3月卒業見込みの者 ②通常の課程による12年の学校教育を修了した者(高等専門学校第3年次修了者等)及び令和9年3月修了見込みの者 ③高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和9年3月31日までにこれに該当する見込みの者														
選考方法	●大学共通テストの試験教科・科目														
	<table><tr><td>教科</td><td>【第1期】(3教科3科目)</td><td>【第2期】(2教科2科目)</td></tr><tr><td>外国語</td><td colspan="2">必須(100点満点)</td></tr><tr><td>数 学</td><td>3科目から1科目選択 (100点満点)</td><td rowspan="3">3教科8科目から 1科目選択 (100点満点)</td></tr><tr><td>理 科</td><td>3科目から1科目選択 (100点満点)</td></tr><tr><td>国 語</td><td>—</td></tr></table>		教科	【第1期】(3教科3科目)	【第2期】(2教科2科目)	外国語	必須(100点満点)		数 学	3科目から1科目選択 (100点満点)	3教科8科目から 1科目選択 (100点満点)	理 科	3科目から1科目選択 (100点満点)	国 語	—
	教科	【第1期】(3教科3科目)	【第2期】(2教科2科目)												
	外国語	必須(100点満点)													
	数 学	3科目から1科目選択 (100点満点)	3教科8科目から 1科目選択 (100点満点)												
理 科	3科目から1科目選択 (100点満点)														
国 語	—														
〈外国語〉「英語」(リスニングの成績は利用しません。)															
〈数 学〉「数学Ⅰ、数学A」、「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ、数学B、数学C」															
〈理 科〉															
【第1期】「物理」、「化学」、「生物」															
【第2期】「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎(地学基礎を除く3科目のうちからいずれか2科目を選択)」、「物理」、「化学」、「生物」															
〈国 語〉「国語(近代以降の文章)」															
●書類審査(学力検査の総合得点が同点の場合、書類審査の評価が高い者を優先とします。)															
※個別の学力検査等は実施しません。※大学入学共通テストの配点を上記の配点に換算し、総合的に選考します。															
※選択科目を指定科目数以上受験した場合は、高得点の科目を合否判定に使用します。ただし、「理科(基礎を付していない科目)」を2科目以上受験した場合は、第1解答科目のみを合否判定に使用します。															

*1.午後1時にインターネットによる合否案内。

総合型選抜 総合型選抜【専願・併願】

	【第1期】(専願)*2	【第2期】(専願)*2	【第4期】(専願)*2
募集人員	16名(【第1期】【第2期】【第4期】合計)		
出願期間	令和8年9月1日(火)～10月9日(金)	令和8年11月13日(金)～12月4日(金)	令和9年2月15日(月)～3月5日(金)
選考日	令和8年10月17日(土)	令和8年12月12日(土)	令和9年3月11日(木)
合格発表日 *1	令和8年11月2日(月)	令和8年12月18日(金)	令和9年3月18日(木)
	【第3期】(併願)【新設】		
募集人員	10名		
出願期間	令和8年12月7日(月)～1月13日(水)		
選考日	令和9年1月23日(土)		
合格発表日 *1	令和9年1月29日(金)		
出願資格	次の①から③のいずれかに該当する者 ①高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和9年3月卒業見込みの者 ②通常の課程による12年の学校教育を修了した者(高等専門学校第3年次修了者等)及び令和9年3月修了見込みの者 ③高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和9年3月31日までにこれに該当する見込みの者		
選考方法	●理解力の確認 (マークシート方式) 基本的な歯科医学に関する約30分の模擬講義(動画)を受講後、授業内容に関する設問に解答。(20分程度/100点満点) ●小論文 [500字～600字](60分/50点満点) ●面接[個人面接] (10分程度/50点満点) ●書類審査 (10点満点) ※上記の結果を基に総合的に選考します。ただし、小論文及び面接には最低基準点を設け、基準に達しない場合は総合得点が合格基準点を超過していても不合格とします。		

*1.午後1時にインターネットによる合否案内。 *2.専願：本学部を第一志望とし、合格した場合は本学部に入学することを確約し、出願する方式。

外部の英語資格・検定試験のスコアの利用について

外部の英語資格・検定試験のスコアを下記の換算基準により外国語の得点として利用することができます。

利用可能な入学者選抜 一般選抜A個別方式・N全学統一方式

英語資格・検定試験		換算点 ※方式によって換算点異なりますので、ご注意ください。		
		A個別方式 100点に換算	A個別方式 90点に換算	A個別方式 80点に換算
		N全学統一方式 90点に換算	N全学統一方式 80点に換算	N全学統一方式 70点に換算
実用英語技能検定 CSEスコア (CSE 2.0)		2,304 以上	2,142 以上	1,980 以上
TEAP (R/L + W/S)		309 以上	267 以上	225 以上
GTEC		1,180 以上	1,055 以上	930 以上
IELTS™		5.5 以上	5.0 以上	4.5 以上
TOEFL iBT®	2026年1月20日以前に実施した試験	72 以上	57 以上	42 以上
	2026年1月21日以降に実施した試験	4 以上	3.5 以上	3 以上

- ①スコアを提出した場合、本学の外国語の試験の受験は任意とします。
- ②本学部の外国語の試験を受験した場合は、高得点の方を合否判定に使用します。
- ③いずれも4技能合計のスコアとします。
- ④異なる実施回の各技能のスコアを組み合わせることはできません。
複数回受験した場合でも各技能の最高点の合算は行いません。

令和9年度入学者選抜情報

◆本誌に掲載されている内容は予定であり、変更になる可能性があります。必ず募集要項でご確認ください。



*詳細はこちらをご覧ください。

学校推薦型選抜 指定校制・公募制【専願】

	指定校制	公募制
募集人員	12名(【指定校制】【公募制】合計)	
出願期間	令和8年11月2日(月)～11月9日(月)	
選考日	令和8年11月14日(土)	
合格発表日 *1	令和8年12月1日(火)	
出願資格	次の事項を全て満たす者。 ●本学部指定の高等学校又は中等教育学校を令和9年3月卒業見込みの者。 ●調査書の「全体の学習成績の状況」が指定校別に定めた値以上の者。 ●学校長が責任をもって推薦する者。	次の事項を全て満たす者。 ●全日制高等学校又は中等教育学校(共に普通科・理数科、又は本学部がこれに準ずると認めた学科)を令和8年3月から令和9年3月までに卒業または卒業見込みの者。 ●調査書の「全体の学習成績の状況」が3.3以上の者。 ●学校長が責任をもって推薦する者。
出願要件	本学部を第一志望とし、合格した場合は本学部に入學することを確約できる者。	
選考方法	●書類審査(10点満点) ●小論文[500字～600字](60分/50点満点) ●面接[個人面接](10分程度/50点満点) ※上記の結果を基に総合的に選考します。ただし、小論文及び面接には最低基準点を設け、基準に達しない場合は総合得点が合格最低点を超過していても不合格とします。	

*1.午後1時にインターネットによる合否案内。

学校推薦型選抜 日本大学付属高等学校等【専願・併願】

	基礎学力選抜【専願】	付属特別選抜【専願】	国公私立併願方式【併願】	追加募集【専願】
募集人員	16名	2名	1名	—
出願期間	令和8年11月2日(月)			令和8年12月8日(火)
選考日	令和8年11月14日(土)			令和8年12月12日(土)
合格発表日 *1	令和8年12月1日(火)			令和8年12月18日(金)
出願要件	次の①～③の全ての要件を満たし、学校長が責任をもって推薦する者。 ①日本大学付属高等学校等を令和9年3月卒業見込みの者。 ②本学部で歯学の専攻を強く希望し、合格した場合、本学部に入學することを確約できる者。 ③日本大学付属高等学校等基礎学力到達度テスト(理系)の標準化点の順位が全体の上位8割以内である者。	次の①～②の全ての要件を満たし、学校長が責任をもって推薦する者。 ①日本大学付属高等学校等(文系・理系)を令和9年3月卒業見込みの者。 ②本学部で歯学の専攻を強く希望し、合格した場合、本学部に入學することを確約できる者。	次の①～②の全ての要件を満たし、学校長が責任をもって推薦する者。 ①日本大学付属高等学校等を令和9年3月卒業見込みの者。 ②日本大学付属高等学校等基礎学力到達度テスト(理系)の標準化点の順位が全体の上位6割以内である者。	次の①～②の全ての要件を満たし、学校長が責任をもって推薦する者。 ①日本大学付属高等学校等を令和9年3月卒業見込みの者。 ②日本大学付属高等学校等基礎学力到達度テスト(理系)の標準化点の順位が全体の上位8割以内である者。
選考方法	●面接[個人面接](10分程度/50点満点)	●書類審査(10点満点) ●理解力の確認(マークシート方式) 基本的な歯科医学に関する約30分の模擬講義(動画)を受講後、授業内容に関する設問に解答。(20分程度/100点満点) ●小論文[500字～600字](60分/50点満点) ●面接[個人面接](10分程度/50点満点)	●面接[個人面接](10分程度/50点満点)	

※上記の結果を基に総合的に選考します。ただし、小論文及び面接には最低基準点を設け、基準に達しない場合は総合得点が合格最低点を超過していても不合格とします。

◆詳細については、在籍の付属高校または教務課(入試係)にお問い合わせください。◇入試に関するお問合せ先 教務課(入試係) TEL：047-360-9339 *1.午後1時にインターネットによる合否案内。

その他の選抜 外国人留学生選抜【併願】

	【第1期】	【第2期】
募集人員	4名(【第1期】【第2期】合計)	
出願期間	令和8年9月1日(火)～9月24日(木)	令和8年11月2日(月)～11月20日(金)
選考日	令和8年10月17日(土)	令和8年12月12日(土)
合格発表日 *1	令和8年10月23日(金)	令和8年12月18日(金)
出願資格	日本大学HP入試ガイドに記載のとおり(日本語能力試験(JLPT)N2 レベル以上取得が望ましい) ※令和10年度入学者選抜からは、日本語能力試験(JLPT)N2レベル以上を“必須”にする予定です。	
選考方法	●理解力の確認(マークシート方式) 基本的な歯科医学に関する約30分の模擬講義(動画)を受講後、授業内容に関する設問に解答。(20分程度/100点満点) ●小論文[500字～600字](60分/50点満点) ●面接[個人面接](10分程度/50点満点) ◆全て日本語で実施する。 ※上記の結果を基に総合的に選考します。ただし、小論文及び面接には最低基準点を設け、基準に達しない場合は総合得点が合格最低点を超過していても不合格とします。	

*1.午後1時にインターネットによる合否案内。

その他の選抜 校友卒選抜【専願】

	【第1期】	【第2期】
募集人員	10名(【第1期】【第2期】合計)	
出願期間	令和8年9月1日(火)～10月9日(金)	令和8年11月16日(月)～12月4日(金)
出願資格確認書 申請期限 *1	第1期 令和8年9月25日(金)	第2期 令和8年11月20日(金)
選考日	令和8年10月17日(土)	令和8年12月12日(土)
合格発表日 *2	令和8年11月2日(月)	令和8年12月18日(金)
出願資格	日本大学校友会が発行した「出願資格確認書」を有し、次の①から③のいずれかに該当する者。 ①高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和9年3月卒業見込みの者。 ②通常の課程による12年の学校教育を修了した者(高等専門学校第3年次修了者等)及び令和9年3月修了見込みの者。 ③高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和9年3月31日までにこれに該当する見込みの者。	
出願要件	本学部を第一志望とし、合格した場合は本学部に入學することを確約できる者。	
選考方法	●書類審査(10点満点) ●理解力の確認(マークシート方式) 基本的な歯科医学に関する約30分の模擬講義(動画)を受講後、授業内容に関する設問に解答。(20分程度/100点満点) ●小論文[500字～600字](60分/50点満点) ●面接[個人面接](10分程度/50点満点) ※上記の結果を基に総合的に選考します。ただし、小論文及び面接には最低基準点を設け、基準に達しない場合は総合得点が合格最低点を超過していても不合格とします。	

*1.「出願資格確認書」を日本大学校友会事務局へ提出し、申請をしてください。 *2.午後1時にインターネットによる合否案内。

その他の選抜 編入学試験(2年次)【併願】

	【第1期】	【第2期】
募集人員	若干名	
出願期間	令和8年11月2日(月)～11月9日(月)	令和9年2月15日(月)～3月5日(金)
出願資格審査 申請期限 *1	第1期 令和8年9月30日(水)	第2期 令和9年1月30日(土)
選考日	令和8年11月14日(土)	令和9年3月13日(土)
合格発表日 *2	令和8年12月1日(火)	令和9年3月19日(金)
出願資格	次の①から⑤のいずれかの要件を満たす者。 ①出願時において同一の大学に1年以上在学し、35単位以上を修得した者。ただし、単位修得見込みの者を除く。 ②大学を卒業した者及び令和9年3月卒業見込みの者。 ③短期大学を卒業した者及び令和9年3月卒業見込みの者。 ④高等専門学校(学校教育法第115条)を卒業した者及び令和9年3月卒業見込みの者。 ⑤医療系専修学校専門課程(修業年限2年以上、総授業時間数1,700時間以上に限る)を修了した者及び令和9年3月修了見込みの者。	
選考方法	●理解力の確認(マークシート方式) 基本的な歯科医学に関する約30分の模擬講義(動画)を受講後、授業内容に関する設問に解答。(20分程度/100点満点) ●小論文[500字～600字](60分/50点満点) ●面接[個人面接](10分程度/50点満点) ※上記の結果を基に総合的に選考します。ただし、小論文及び面接には最低基準点を設け、基準に達しない場合は総合得点が合格最低点を超過していても不合格とします。	

*1.「出願資格審査申請書」を教務課(入試係)へ提出し、申請をしてください。 *2.合否を問わず、本人に通知します。

その他の選抜 編入学試験(3年次)【併願】

	【第1期】	【第2期】
募集人員	若干名	
出願期間	令和8年11月2日(月)～11月9日(月)	令和9年2月15日(月)～3月5日(金)
出願資格審査 申請期限 *1	第1期 令和8年9月30日(水)	第2期 令和9年1月30日(土)
選考日	令和8年11月14日(土)	令和9年3月13日(土)
合格発表日 *2	令和8年12月1日(火)	令和9年3月19日(金)
出願資格	次の①～③のいずれかの要件を満たす者。 ①出願時において、以下に挙げる分野の大学に2年以上在学し、73単位以上修得した者。ただし、単位修得見込みの者を除く。 ②以下に挙げる分野の大学を卒業した者及び令和9年3月卒業見込みの者。 ③以下に挙げる分野の短期大学を卒業した者及び令和9年3月卒業見込みの者。 【該当分野】歯・医・薬分野、看護・保健・衛生分野、健康科学分野 ◆上記①～③のいずれの場合も、出願前に前学校での既修得科目・単位により、出願資格の有無を確認するので、必ず教務課(入試係)にお問い合わせください。 ◇入試に関するお問合せ先 教務課(入試係) TEL：047-360-9339	
選考方法	●理解力の確認(マークシート方式) 基本的な歯科医学に関する約30分の模擬講義(動画)を受講後、授業内容に関する設問に解答。(20分程度/100点満点) ●小論文[500字～600字](60分/50点満点) ●面接[個人面接](10分程度/50点満点) ※上記の結果を基に総合的に選考します。ただし、小論文及び面接には最低基準点を設け、基準に達しない場合は総合得点が合格最低点を超過していても不合格とします。	

*1.「出願資格審査申請書」を教務課(入試係)へ提出し、申請をしてください。 *2.合否を問わず、本人に通知します。

学費(令和9年度)※諸会費含む

松戸歯学部

項目	【1年次】		【2年次】		【3～6年次】	
	前学期 (入学手続時納入金)	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期 <i>*2</i>
入学金	600,000円	—	—	—	—	—
授業料	1,750,000円	1,750,000円	1,750,000円	1,750,000円	1,750,000円	1,750,000円
施設設備資金	400,000円	400,000円	400,000円	400,000円	400,000円	400,000円
教育充実料 <i>*1</i>	1,000,000円	1,000,000円	500,000円	500,000円	—	—
後援会入会金	100,000円	—	—	—	—	—
後援会費	30,000円	—	30,000円	—	30,000円	—
校友会準会員費	10,000円	—	10,000円	—	10,000円	—
合計	3,890,000円	3,150,000円	2,690,000円	2,650,000円	2,190,000円	2,150,000円
学年合計		7,040,000円		5,340,000円		4,340,000円

1.*卒業するまでには、学費以外にも教科書代及び実習器材費等が必要です。2.*卒業年度の後学期には、上表のほかに校友会正会員費(1万円)を徴収します。

大学院 松戸歯学研究科

項目	【1年次】		【2～4年次】		
	前学期(入学手続時納入金)		後学期	前学期	後学期 <i>*2</i>
	学内者 <i>*1</i>	学内者以外			
入学金	—	200,000円	—	—	—
授業料	350,000円	350,000円	350,000円	350,000円	350,000円
施設設備資金	—	500,000円	—	—	—
校友会準会員費	10,000円	10,000円	—	10,000円	—
合計	360,000円	1,060,000円	350,000円	360,000円	350,000円

1.*「学内者」とは、日本大学を卒業した者または日本大学大学院を修了した者をいいます。2.*修了年度の後学期には、上表のほかに校友会正会員費(1万円)を徴収します。



各種奨学金制度

本学部には充実した奨学金制度があります。学業成績・人物が優秀な学生や、経済的理由により修学が困難な学生に対し、様々な奨学金を給付・貸与しています。

※詳細はこちらをご覧ください。

学内の奨学金制度

奨学金名		対象	条件	金額	募集時期 *1	種別
日本大学待待生		学部2年次生以上	学業成績・人物共に優秀な者（公募ではありません）。	甲種：授業料1年分相当額の半額 及び図書費 乙種：授業料1年分相当額の半額	—	給付
松戸歯学部鈴木奨学金	第1種	学部2～6年次生・大学院生	学業成績・人物ともに優れている者。	年額10万円	4～5月	
	第2種	学部・大学院生	経済的理由により学費の支弁が困難である学業成績・人物共に優秀な者。	年額24万円	5月	
	第3種	学部1年次生	入学者選抜において成績が特に優秀で、人物が優れている者。	1年次の学費相当額	—	
	第4種	学部2年次生	前年度に第3種奨学生で、学業成績・人物ともに優れている者。	2年次の学費相当額		
松戸歯学部大竹奨学金		学部6年次生・大学院生	学業・人物ともに優れた者、もしくは、課外活動において顕著な成果を収め学部等の発展に貢献したと認められる者。	年額10万円	5月	
松戸歯学部特別奨学金		学部1年次生	年内実施の専願の入学者選抜での入学者。	入学金相当額	—	
日本大学古田奨学金		大学院生	学業成績・人物共に優秀な者。	年額20万円	5月	
日本大学ロバート・F・ケネディ奨学金						
日本大学創立130周年記念奨学金（第2種）		学部生	経済的支援を必要とし、修学意志が堅固で学業成績及び人物が優良な者（外国人留学生を除く）。	年額30万円	6月	

学外の奨学金制度

奨学金名		対象	条件	金額	募集時期 *1	種別
日本学生支援機構 奨学金 *2	第一種 【無利子】	学部・ 大学院生	特に優れた学生で、経済的理由により著しく修学困難な者。	学部生：2・3・4・5万4千円の中から選択 (自宅通学)。2・3・4・5・6万4千円の中 から選択(自宅外通学)。 大学院生：8万円もしくは12万2千円。	9月	貸与
	第二種 【有利子】		第一種奨学金よりゆるやかな基準によって選考された者。	学部生：2・3・4・5・6・7・8・9・10・11・ 12・16万円から選択。 大学院生：5・8・10・13・15万円から選択。		
	給付型	学部生	収入が一定額以下であること(学業成績・学修意欲等に関する要件も満たす必要があります)。 ※給付型奨学金の対象となれば授業料・入学金も免除又は減額。 多子世帯(生計維持者が扶養する子供が3人以上)で、条件を満たしていれば対象になります。(対象になるには資産の条件など細かい条件がありますので、JASSOのホームページを必ず確認してください。)	世帯収入に応じた4段階の基準で支援額が決定。 多子世帯の条件を満たしている場合は、授業料は年間70万円の支援、入学金は26万円を支援。	4月・9月	給付
民間企業提携教育ローン		学部・ 大学院生	詳細は学生課までお問い合わせください。	随時	随時	給付貸与
地方公共団体・各奨学財団奨学金			募集期間や内容は様々ですので、詳細は学生課掲示板にて随時お知らせします。			

1.*募集時期は目安です。正式な期限等については、学生課掲示板にてお知らせいたします。2.*独立行政法人日本学生支援機構(JASSO)のホームページを御参照ください。 <https://www.jasso.go.jp>

新しい奨学金制度について

入学者対象の奨学金（返還不要）・学費減免制度

松戸歯学部鈴木奨学金

給付額

1,220万円

6年間の学費

2,940万円が1,720万円に

(2年次までの学費相当額 **1*)

※2年次の給付条件有

対象者
入学者選抜の成績が特に優秀な者 若干名

対象となる選抜
● 一般選抜 ・A個別方式(第1期) ・N全学統一方式(第1期) ・C共通テスト利用方式(第1期) ● 学校推薦型選抜(日本大学付属高等学校等) ・基礎学力選抜 ・国公私立併願方式

教育充実料減免制度

減免額

200万円

(1年次の教育充実料 **1*)

対象者
入学者選抜の成績が優秀な者 若干名

対象となる選抜
● 一般選抜 ・A個別方式(第1期・第2期)・ ・N全学統一方式(第1期・第2期) ・C共通テスト利用方式(第1期・第2期) ● 学校推薦型選抜(日本大学付属高等学校等) ・基礎学力選抜 ・国公私立併願方式

松戸歯学部特別奨学金

給付額

60万円

(入学金相当額 **1*)

対象者
年内実施の専願の入学者選抜【 入学者全員 】

対象となる選抜
● 総合型選抜(第1期・第2期) ● 学校推薦型選抜(指定校制・公募制) ● 校友枠選抜(第1期・第2期) ● 学校推薦型選抜(日本大学付属高等学校等) ・基礎学力選抜 ・付属特別選抜

**1.*入学手続時に必要な学費は納付していただきます。

